

ことばと いきる

募集期間

2026年
5月14日(木) ▶ 6月18日(木)

エントリー締切 6月11日(木)
書類アップロード締切 6月18日(木)

詳細についてはアジア・アフリカ言語文化
研究所のホームページをご覧ください。

<https://www.aa.tufs.ac.jp/projects/training/ilc/>



2026年度
アジア・アフリカ言語文化研究所

言語研修生 募集

ブルーフィー語

ナワトル語



研修期間

2026年
8月24日(月) ▶ 9月16日(水)
各90時間(文化講演含む)

研修会場

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所

写真：(左上)ナワトル語講師の出身地チコンテベクの霊山・ポステクトリ(右中)
羊の群れを放牧する祖父と孫(左下)農耕儀礼に用いるサトウキビの茎をブーゲン
ビリアなどの花々で飾る男性、チコンテベクにて



ブラーフイー語

ブラーフイー語はパキスタンのバローチスタン州を中心に話される言語で、約300万人の話者がおり、話者は伝統的に遊牧や農耕によって生活してきました。最北のドラヴィダ語族言語である一方、イラン系言語に囲まれ、双方の言語的特徴を持ちます。かつての藩王の言語として威信があり、今日でも若年層に継承されており、民話や詩、小説など文学も豊富です。



講師のことば

この授業では、遊牧生活を題材にした会話テキストでブラーフイー語を学びます。語学として読み、書き、話せる楽しさを実感できるようサポートします。(東京大学 教授・小林正人)

遊牧生活には一歩ごとに一つのことばがあり、一つのことばごとに一つの学びがあります。この研修はことばを学ぶだけでなく、ことばを通して文化を体験することを目指します。

(バローチスタン大学 准教授・Liaquat Ali)



ナワトル語

メキシコは、多様で豊穡な先住民文化の下地のうえに築かれた国であり、共通語であるスペイン語とともに、11の異なる語族からなる68の先住民語がさざめく多言語の国です。ナワトル語はそのうち最大の先住民語で、いわゆるアステカの言語として、歴史上重要な役割を果たしてきただけでなく、同国の文化・社会のいたるところに影響を与えつづけています。

講師のことば

このたび、現代ナワトル語の最大方言の母語話者にして、現地の先住民語アカデミーの若き所長、言語学者ビクトリアノ・デ・ラ・クルス先生をお招きする光栄を得ました。現代のナワトル語と大航海時代の古典ナワトル語を同時に学びながら、その違いと連続性を楽しみましょう。

(東京科学大学ほか 非常勤講師・佐々木充文)

【写真】ブラーフイー語：羊飼いの食事を用意する ナワトル語：町の守護聖人祭の行列、プエブラ山地にて

応募方法

アジア・アフリカ言語文化研究所のホームページに掲載している受講申込書に必要事項をご記入の上、在学証明書または最終学歴の卒業証明書(写し)を添えてお申し込みください。

エントリー締切：2026年6月11日(木) 書類アップロード締切：2026年6月18日(木)